

令和7年産
水稲栽培ごよみ
ヒノヒカリ・実りつくし

三井地区農業振興協議会
J A み い
久留米普及指導センター

月	5月	6月			7月			8月			9月			10月			
旬	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中		
生育相	は種	育 苗		田植	有効分げつ期			無効分げつ期		幼穂形成期		出穂期		登 熟 期		成熟期	成熟期
水 管理				浅水管理	間断灌水			中干し		間断灌水		浅水管理		間 断 灌 水			
主な作業		●基肥 （耕起前） ●ミネラルG又は珪鉄		●除草剤 ●田植坪60株植え	← 茎数の早期確保 →			●穂肥1回目 （幼穂長3～5mm程度）		●穂肥2回目	○実りつくし出穂期 ●ヒノヒカリ出穂期	← 根の健全化に努める →			●落水	●ヒノヒカリ成熟期（出穂後41日頃） ○実りつくし成熟期（出穂後44日頃） ・適期収穫に努め、品質低下を防ぎましょう。 ・ふるい目1.8mm以上	
病害虫防除対策	粉剤体系	田植3日前～当日 アンコール箱粒剤		（コブノメイガ） いもち病・ウンカ類 は種時（覆土前）～当日 もしくは			（ジャンボタニシ） スクミリンゴガイ スクミノン 4kg/10a			（ヨノメイガ） ウンカ類幼虫 チカトナー オオムシゴキ 4kg/10a			（ウンカ類） スターフル粉剤 3kg/10a				
	液剤体系	50g/箱		50g/箱			4kg/10a			（ヨノメイガ） ウンカ類幼虫 チカトナー オオムシゴキ 1000倍			（ウンカ類） スターフル液剤1000倍				
	粒剤体系			は種時覆土前～当日 フルスロッド箱粒剤 50g/箱			（ジャンボタニシ） スクミリンゴガイ スクミノン 4kg/10a			（ヨノメイガ） ウンカ類 トレボン粒剤 3kg/10a			（ウンカ類） スターフル粒剤 3kg/10a				

※いもち病対策 コラトップ粒剤5 3～4kg/10a 多発生が予想される場合は、葉いもち発生前散布(初発10日前～初発時)が効果的。出穂5日前まで
※コブノメイガ対策 トレボン粉剤DL 3～4kg/10a 収穫7日前まで、もしくはトレボン乳剤 60～150ℓ/10a 1000倍 収穫14日前まで

土づくり

目 的	資 材
有機物の投入	大地めぐみちゃん 1t/10a
ケイ酸、石灰の投入 (右資材のいずれか)	ミネラルG 100～200kg/10a 珪鉄 100～200kg/10a

※地力増進のため麦わら・稲わらは全量すき込みましょう。

種子消毒

種粉量	水量	薬剤	使用料	時間	対象
5.5kg	10L	テクリードCフロアブル ＋ スミチオン乳剤	50ml 10ml	24時間浸漬	もみ枯細菌病、ばか苗病、いもち病 イネシンガレセンチュウ

※浸漬中に2回の攪拌を行う。
※種子消毒後は水洗いせずに、その後停滯水につけ1日1回水を換え、芽出しを行う。

施肥基準

◎ヒノヒカリ

◎ヒノヒカリ				(kg/10a)
施肥例	基 肥	施肥量	穂 肥	施肥量
I	ちくごのめぐみ 444	40kg	NK化成2号	20kg
II	一発タイプ Jコート2000 晩稲(元ヒ一発2号)	45kg		—

(kg/10a)

◎実りつくし

◎実りつくし				(kg/10a)	
施肥例	基 肥	施肥量	穂 肥	施肥量	
				1回目	2回目
I	ちくごのめぐみ 444	40kg	NK化成2号	15kg	10kg
II	一発タイプ 晩生一発エムコート44	45kg		—	—

(kg/10a)

※穂肥の2回目は1回目の7日後。

品種特性表

品 種 名	出穂期 月 日	成熟期 月 日	稈長 cm	穂長 cm	m ² 当り 穂数 本	耐倒 伏性	玄 米 千粒重g	10a当り 収量 kg	品 質	食 味	耐病性	
											いもち	白葉枯
ヒノヒカリ	8/26	10/6	84	19.0	379	やや弱	22.5	554	上の下	上の中	やや弱	やや弱
実りつくし	8/31	10/15	81	20.6	348	やや弱	23.7	598	上の上	上の上	やや弱	中

※実りつくしは、いもち病に弱いので適期防除に努める。

農薬使用上の注意

- ① 粉剤は散布後、殺菌剤で6時間、殺虫剤で3時間以内に降雨にあった場合は効果が劣るので天候に注意して散布しましょう。
- ② 農薬によるミツバチへの危害防止のため、稲の開花期に農薬の使用は避けましょう。
- ③ 安全・安心な農産物を確保するため以下のことに注意しましょう。
 - ・この暦は、令和7年1月時点の登録情報に基づいて作成しています。
 - ・農薬の登録内容は随時変更されますので、使用時はラベルを確認し、使用基準を遵守しましょう。
 - ・周辺作物へ農薬の飛散がないように注意しましょう。

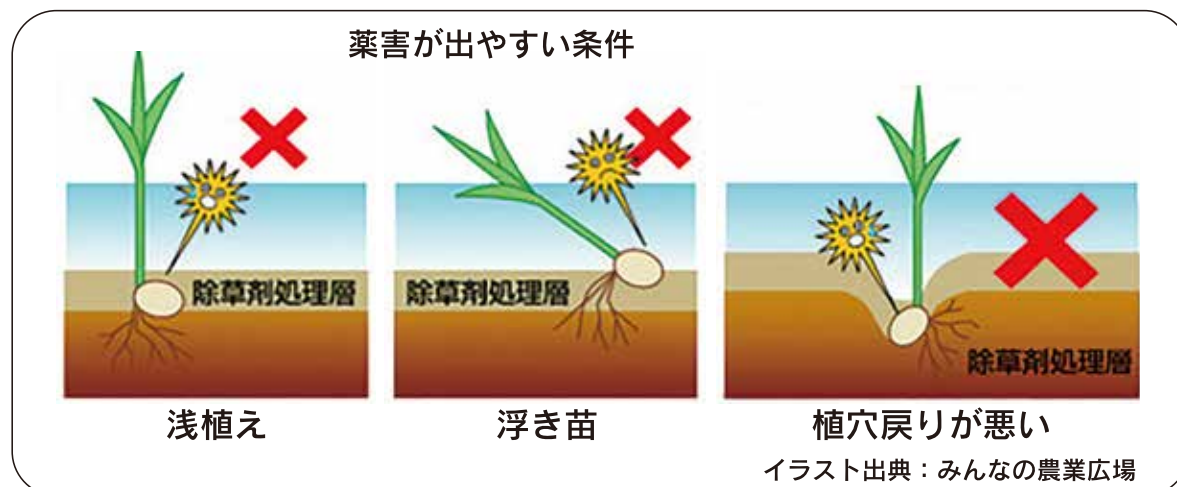
※収穫前に栽培日誌の提出をお願いいたしますので、農薬による防除を行った場合必ず記入して下さい。

一般水田雜草除草劑使用基準

◎初・中期一発除草剤

時期	除草剤名	10a当り使用量	使用時期	使用目安時期 (移植後日数)
初・中期一発	ラオウ1キ口粒剤	1kg	移植時～ノビエ2.5葉期	0～10日
	サラブレッドKAI1キ口粒剤	1kg	移植時～ノビエ2.5葉期	0～10日
	ジェイソウルジャンボ	10パック(小包装)	移植後1日～ノビエ2.5葉期	1～10日
	ラオウジャンボ	10パック(小包装)	移植直後～ノビエ2.5葉期	0～10日
	ウィニングランフロアブル	500ml(1本)	移植時～ノビエ2.5葉期	0～10日
	ブライオリティフロアブル	500ml(1本)	移植時～ノビエ3.5葉期	0～14日

除草効果を高めるため、3,4日間湛水状態とし、散布後7日間は落水・かけ流しはしない。



◎中・後期除草剤

適用雑草	除草剤名	使用量	使用時期	使用方法
		10a当り		
水田一年生雑草 ノビエ(5葉期)	クリンチャーバスME 液剤	1000ml	移植後15日～ ノビエ5葉期 ただし、収穫50日前まで	・ 落水状態(足跡に水が 残る程度)を保ち均一 に散布を行なう。
イネ科雑草 ノビエ(6葉期)	クリンチャーEW	100ml	移植後20日～ ノビエ6葉期 ただし、収穫30日前まで	・ 落水し雑草の茎葉が 田面に出ている状態 で散布する。

①薬剤ごとに適用葉齢、水管理、使用時期が異なるのでラベル等をよく読んで使用して下さい。
②効果を高めるため3～5日間は散布時の状態を維持する。降雨があっても7日間は落水しない。

米は全量JAへ

JA米の要件

- ・銘柄が確認できた種子により生産された米穀
- ・登録検査機関で受検した米穀
- ・生産履歴記帳が確認された米穀

「JA米とそれ以外を区分してJAに出荷しましょう」

令和7年1月作成